

〈資料〉「学び・遊び・つなぐ」プロジェクト

2024年度「学び・遊び・つなぐ」プロジェクト報告

大谷直史・柿内真紀

はじめに

教員養成センターでは、2024年度後期に、今年度で通算11年目となる「学び・遊び・つなぐ」プロジェクト（2024年度 学長裁量経費）を企画実施した。プロジェクトは以下のように、〈学び〉、〈遊び〉、〈つなぐ〉の3つで展開している。

〈学び〉 現職教員の方々から、授業づくりやクラスづくりの極意を学ぶこと、教職に就いた後に続く、教員としてのさまざまなキャリア形成のあり方を学ぶことを目標として、授業づくり・学級づくりに力量のある現職教員等を講師に招いた「学びの教室」、「学びのパネル」および今回初めて学生の企画により、鳥取県教育委員会と連携して「とっとり教採アンバサダー」4名を招き、教職への不安や希望についてざっくばらんに語り合う「学びの座談会」を実施した。これらのプログラムでは、教職関連授業と連携した内容やそれらの授業を補完する企画を組み、目指す教師像を参加学生が模索する機会とした。講師の招へいについては、鳥取県教育委員会、鳥取市教育委員会と連携している。また鳥取県ではどのような教員が求められているのかをテーマに鳥取県教育委員会主査を招いた講座を行った。

「学びの教室」（全6回）参加者数のべ440人

- 第1回 10月30日（水）5限 場所：教員養成センター
講師：吾郷 勲 教諭（鳥取市立明德小学校）
第2回 11月5日（火）5限 場所：教員養成センター
講師：中井 暁子 主幹教諭（鳥取県立鳥取豊学校）
第3回 11月15日（金）5限 場所：共通教育棟 A20
講師：辻中 孝彦 校長（鳥取県立岩美高等学校）
第4回 11月21日（木）5限 場所：共通教育棟 C31
講師：谷口 千春 副園長（鳥取大学附属幼稚園）
特別編「求められる教師像」 11月22日（金）5限 場所：共通教育棟 A20
講師：亀井 修平 主査（鳥取県教育委員会事務局）
第5回 12月2日（月）5限 場所：教員養成センター
講師：青野 学 教諭（鳥取市立中ノ郷中学校）

（コーディネーター：教員養成センター特任教員 藤田則恵）

「学びのパネル」（全1回）先輩教師（若手教員）と語る会 参加者数21人

- 11月11日（月）5限 場所：教員養成センター
講師：松岡 純子 主幹教諭（鳥取市立美保小学校）
谷口 朋宏 教諭（鳥取市立江山学園）

（コーディネーター：教員養成センター特任教員 藤田則恵）

「学びの座談会」（全 1 回） 現職教員（とっとり教採アンバサダー）と教員志望学生との交流会 参加者数 8 人

1 月 24 日（金） 5 限 場所：教員養成センター

講師：山口 真由 教諭（鳥取市立湖山小学校）

井川 七穂 教諭（鳥取市立浜坂小学校）

高橋 菜桜 教諭（鳥取市立高草中学校）

小橋 天晴 教諭（鳥取県立倉吉養護学校）



（コーディネーター：教員養成センター特任教員 藤田則恵）

<遊び> 本年度は、近隣の湖山小学校の生活科授業において実施されている大学探検の案内役を務めることから始まった。構内の自然とふれあい、リース作りの材料を集めることを目的として、遊びながら散策を行った。また例年行っているプログラミング教材としてのボードゲーム作成を教職実践演習内で行い発表した。さらに第 3 回では芸術との関連について議論を深め、ボードゲームの持つ可能性を追求した。

また、本を入り口に教職志望者の視野を広げ、学習のデザインやアイデアの幅をひろげていくことを意図した「ブッククラブ」を、今年度も 1 年次の教職入門に該当する授業内に組み込んで実施した。内容は、「教育実習で児童・生徒に読んだ本をもとに語る」ことを前提に小グループで同じ本を読み、各自がテーマを決めて発表し、コメントを出し合い語り合うというものである。取り組みを実施するにあたっては、「読む本リスト」を作成して提示し、このリストからグループで選書することとした。毎年度更新しながら作成しているこのリストに掲載されている本は、教員養成センターのライブラリーで閲覧できるようにしている。

「遊びの教室」（全 3 回） 参加者数のべ 32 人

第 1 回 11 月 6 日（水） 1 限 場所：鳥取大学構内

鳥取市立湖山小学校 1 年生活科「大学探検」参加

第 2 回 12 月 23 日（月） 5 限 場所：教員養成センター

「教職実践演習」受講者によるプログラミング教材発表

第 3 回 1 月 20 日（月） 5 限 場所：教員養成センター

「協同性と親密性を醸成するアート系ボードゲーム」

講師：武田 信吾 准教授（関西学院大学）

（コーディネーター：教員養成センター教員 大谷直史）

「ブッククラブ」（「人間と教育～教職入門」授業内）対象授業受講者数 148 人

（コーディネーター：教員養成センター教員 柿内真紀）

<つなぐ> 子どもたちが育っていく社会は多様化、グローバル化している。そこには、地域ごとの課題もあれば、ある社会全体、地球全体の課題もある。そして、学校は社会の変化を反映する。学校には不登校や非行、虐待や発達障害、異なる文化など、生活上のさまざまな課題が持ち込まれる。そうしたことを前提にしながら、これからの社会ではたらく教員として、どのようなつながりを持つのか／つながるのかを考える機会として、毎年度<つなぐ>を企画している。

今年度の「つなぐ教室」は、①教職への道のりを知り・考える機会として、教員を目指す学生を対象にした準備講座、②不登校生徒支援に携わる方を招いた講座、③「ローカルとグローバルをつなぐ教員のしごと」として、海外日本人学校等（在外教育施設）経験教員等を講師に招き、グローバル人材としての教員（または、グローバル人材を育てる教員）の観点から教員のキャリア形成を促すことを念頭においた講座、④さまざまな学校園を知る試みとして保育園、⑤救命救急について知る講座を開催した。③は今回で11年目となり、主に今年度帰国した、該当する鳥取県内の現職教員等を招くことを継続している。

「つなぐ座談会」（10年目）としては、若手の現職教員を招き、少人数のグループ形式で学校について語り合う機会を設けた。これは本学出身の現職教員を講師に含むことによりロールモデルの提供も目指したものである。また一昨年度からの試みとして、鳥取県教育委員会とともに「トークプログラム（CHA³プログラム）」を実施した。このプログラムは、地域の大人、大学生、中学生がグループになり、働き方や生き方などのテーマについて自由に話し合うものである。中学生が、社会への興味・関心を高めることを目的とし、大学生が中学生にとってのロールモデルとなることも期待される。参加に当たっては鳥取県教育委員会事務局社会教育課による事前研修もおこなわれた。本学からは主に4年次の必修「教職実践演習」の中等クラス受講者が参加した。また「つなぐ仲間づくり」では、本年度の教員採用試験合格者から試験対策を学ぶ講座を開催した。

「つなぐ教室」（全7回）参加者数のべ375人

- 第1回 7月19日（金）昼休み 場所：教員養成センター
教員採用試験受験者オリエンテーション
講師：藤田 則恵 特任教授（鳥取大学教員養成センター）
- 第2回 10月16日（水）5限 場所：共通教育棟 C21 教室
講師：岡本 啓史 さん（国際教育家、生涯学習者、パフォーマー／元 JICA, UNHCR 等）
- 第3回 10月21日（月）5限 場所：教員養成センター
講師：富吉 裕美子 施設長（鳥取市立久松保育園）
- 第4回 10月23日（木）3限 場所：共通教育棟 3階第一会議室
「AED 講習」（定員 30 名）
講師：湖山消防署
- 第5回 11月14日（水）5限 場所：共通教育棟 C31 教室
講師：横山 真歩 教諭（鳥取市立浜坂小学校，前ペナン日本人学校）
- 第6回 12月 5日（木）5限 場所：共通教育棟 C31 教室
講師：河上 友香 さん（ハーモニーカレッジ牧場フリースクールまなび〜馬事業責任者）
- 第7回 12月 6日（金）5限 場所：共通教育棟 A20 教室
講師：田川 弘子 主幹兼指導主事（鳥取市教育委員会学校教育課，前グアム日本人学校）

（第2・6回 コーディネーター：教員養成センター教員 石本雄真）
（第1・3・5・7回 コーディネーター：教員養成センター特任教員 藤田則恵）

「トークプログラム」（全3回）参加者数のべ60人

- 第1回 9月20日（金）鳥取市立青谷中学校（大学生8名，その他不明）
- 第2回 11月 7日（木）鳥取市立高草中学校（中学生17名，大学生9名，地域の大人13名）
- 第3回 11月24日（日）鳥取市立東中学校（中学生132名，大学生43名，地域の大人42名）
（コーディネーター：教員養成センター教員 大谷直史）

「つなぐ座談会」（全 1 回） ～鳥取大学出身若手教員と語る～ 参加者数 11 人

12 月 4 日（水）5 限 場所：教員養成センター

講師：福田 直生 教諭（鳥取市立醇風小学校）

長濱 妥紀 教諭（鳥取市立高草中学校）

（コーディネーター：教員養成センター特任教員 藤田則恵）

「つなぐ仲間づくり」（全 6 回） ～教員採用試験郷学者から学ぶ～ 参加者数のべ 44 人

11 月上旬～下旬 場所：教員養成センター

（コーディネーター：教員養成センター特任教員 藤田則恵）

大谷直史（鳥取大学教員養成センター）

柿内真紀（鳥取大学教員養成センター長）※「学び・遊び・つなぐ」プロジェクト代表